

夢を紡ぎて

上田市立長小学校

学校だより

令和7年12月12日



正しくツキノワグマを知ろう

NPO 法人信州ツキノワグマ研究会 副理事長

瀧井 晓子さんと筑波大の菅平高原実験所の大学院生 松本さんを講師にお迎えして、ツキノワグマについて正しく知るための学習会を行いました。

本物の毛皮、頭骨、糞の内容物などの実物を囲みながら、クマの体やくらし、食べ物、動く範囲、「なぜ人里近くに来るのか」、「クマに出会わないために」、「出会ったときはどう対処するか」について、クイズを交えながらお話を聞きしました。低学年は紙芝居を読んでいただきました。

この長小学校周辺はかつてツキノワグマの生息地だったことも地図で教えていただきました。クマが暮らす森があるということは、そこに豊かな自然があるということだそうです。



かつて里山は、炭焼きなどが行われた人々の生活に密着した山であり、子どもたちの遊び場でもありました。近年は、里山の利用が減り、森林化がすすんだために私たちの暮らしている場所の近くまでクマの分布域が拡大しています。その結果、クマの生息域と人の生活圏が重なるようになり、クマの目撃数は増加しています。

「信州版ツキノワグマハンドブック（NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会）」より

Q1 クマの食べ物は？

A 主に植物や虫など。

（ヤナギの新芽、笹の新芽、キイチゴ、さくら、くわ、蜂、あり、どんぐり、山ぶどう、サルナシ、など）7月中旬頃から食べ物探しが難しくなりやせている。秋は冬眠に備えて昼も夜もたくさん食べて太る。

Q2 どんなところに暮らしているの？

A クマは山の広い範囲を季節によって場所を変えながら生きている。

（エサを求めて移動する。）

Q3 なぜ人の近くにいるの？

A クマが人の暮らす場所の近くで生活するのは、山に食べ物が少ない夏です。人里には「木の実などの山の食べ物」と「人が作った野菜や捨てたごみ」があるけど、お腹を空かせたクマにとってはどちらも「食べ物」で見分けがつきません。

Q4 クマはなぜ人を襲うの？

A クマも人がこわいので、できるだけ人に合わないように気を付けて暮らしています。人には出会ったとしても、たいていは逃げたり隠れたりして、めったに人を襲うことはありません。しかし、近い距離で人とばったり出会うと、自分や自分の子を守るためにおそってしまうことがあります。（防衛的攻撃が働く）

何に気をつけねばいいの？

★近くでばったり出会わない！

- 音の出るものを持ち歩く=人がいることをクマに教える
- 「やぶ」に近づかない。
- ごみの片付けをきちんとすると。=クマをひきよせてしまうから

クマに出会ってしまったら…

×やってはいけないこと

- ×大声を出す
- ×戦う
- ×ものを投げる
- ×驚かす
- ×走る

●やった方がよいこと

- 落ち着く
- クマを見ながら
- ゆっくり後ずさりする

【 お願い 】

- ・クマの情報については地区によって対応が異なること、また、タイムラグなく常に新しい情報を受け取っていただけるように、**各ご家庭で登録**をお願いします。（学校もこの情報を受けてから対応しています。）

★上田市公式LINE(友だち登録)

★上田市防災メール(上田市メールに登録)

★長野県警察「ライポリス」(アプリ)

などがあります。

- ・学校では、**緊急(通学路)の場合のみ、tetoru でお知らせします。**

- ・クマに人がいることを知らせるために**クマ鈴**など音が出るものも有効です。無い方は、各ご家庭でご購入し、ランドセルについて、お子さんの安全な登下校に努めてください。